

主体的な学びを実践する

# 小中学生のための



# 交流サマースクール

東 愛 義



7月6日、私たちはブレイクッズと呼ばれる世界規模のイベントに参加することになった。ブレイクッズには、芸術の知識や経験を持った世界中の子供たちが集まる。そうすることで異なる国や文化背景を持つ若者たちをつなぎ、次世代の異文化へ対する理解を育むことを目的としている。言ってみれば世界規模の学芸会である。私たちはゲストとしてこの舞台に上がることとなった。しかし、今に至るまでこのイベントに日本は参加をしていないらしく、私たちはゲストではあるにしろ日本人初の参加者になる。それは、プレッシャーでもあるものの、日本や子どもたちのことをよく知ってもらえるチャンスでもある。そこで私たちはどうやって「日本」を伝えようかと考え、ある二曲の歌を歌うことに決めた。一曲目はさくらさくら。これはいかにも日本という旋律で、日本感を味わってもらおうにもってこいだと思われる。二曲目はにじ。子どもたちのお気に入りの歌で、跳ねるようなシヤッフル調がみんなの楽しさを表す手助けをしてくれるだろう。会場は野外に設けられており、バスで一時ほど町で行われる。国際的なイベントとは言ったもののそこまで大きな会場ではなく、観客は200〜300人程だろう。会場に着くとすでに参加者の皆さんがリハールを先していた。私たちの出番はまだまだなので各々出番を待つことに。子どもたちの中には初

めて大きな舞台に立つ子もいるが、まさか初舞台が海外になるとは思ってもみなかったことだろう。子どもたちの中では「緊張する〜！」などの会話が交わされていく。しかし、実際にはそれほど緊張してないのではないうのだからか？私にそう思わせられた。子どもたちは堂々としていた。そうこうしているうちにイベントは順調に進み、とうとう出番がやってきた。さあ、ベイストを尽くす時だ。私たちは舞台上上がり、準備した二曲を披露した。日本の旋律は独特なため、海外の方々にとっては新鮮なかもしれない。演奏が終わると、大きな歓声が私たちを包んだ。何かをやり終えた時の達成感は何にも代えられない。出来から経験することによって、辛いことに挑戦する力が身についていくのではないだろうか？次は日本からゲストとしてではなく、メンバーとしてBrave Kids(勇敢な子どもたち)が世界に文化を発信していくことを願う。



にじのサビでは子どもたちの作成した大きな虹がステージに広がった。今後こういう機会があればどんどん自分を表現して欲しい

## スケジュール

7月4日 村の子供たすとの石窯ピザ会

7月5日 ロッククライミング  
ブレイクッズの  
小道具づくり

7月6日  
トヨタ自動車工場見学  
ブレイクッズへの参加

7月7日 寿司パーティー及び  
部屋の掃除と荷造り

7月8日~7月9日 日本へ

も寿司だけというわけではなく、照り焼きやみそ汁、浅漬けや天ぷらなどたくさん料理を用意して完璧に日本食を再現したのだ。その際、みそや昆布などは日本から持ってきていたのだ。心配は野菜や魚だけだったのだが、日本でも見られる食材が多々あったので無事決行するこどが出来た。やはりこれだけの料理、特に天ぷらはたくさん時間を要する。そこでエヴァさんにもお手伝いを頂くことに。エヴァさんはとても料理が好きらしく、とても楽しそうに天ぷらを揚げていた。お手伝いのかいもあって、料理は完成。その後、寿司の巻き方をレクチャーし、いよいよ頂く。皆さん「美味し〜い」と言ってくれた。作った者にとってこれほどうれしい言葉はない。日本の文化を感じてもらえると嬉しい一日になったと思う。



最後の記念写真。この一か月間を子どもたちはどう感じただろうか？私はサポートする中で子どもたちから学ぶこともたくさんあった。生きるとは学びである、これからも色々なことを経験しながら大きくなって欲しい

この一か月間、子どもたちは素晴らしい環境の中で日常生活ではしえない貴重な体験をしてきた。異なる言語や文化、そして風景などすべてが新鮮に感じられたと思う。その中で学んだことや疑問に思ったことをどんどん突き詰めていけば、必ず自分や世界を正しい道へと導いていくための力となっていくはずだ。そして、その力でこれからの日本を背負っていきけるような人になってほしい。今回、私ははそんな交流会のサポートをすることが出来て本当に光栄に思う。